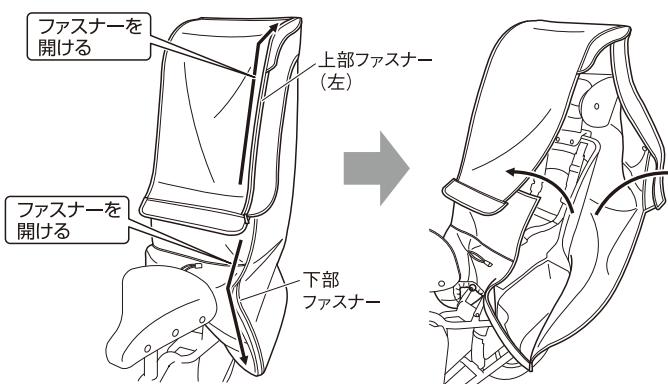


使い方

お子様を乗せ降ろしする時

上部カバーの上部ファスナー（左）、本体カバーの下部ファスナーを開き、乗せ降ろししてください。



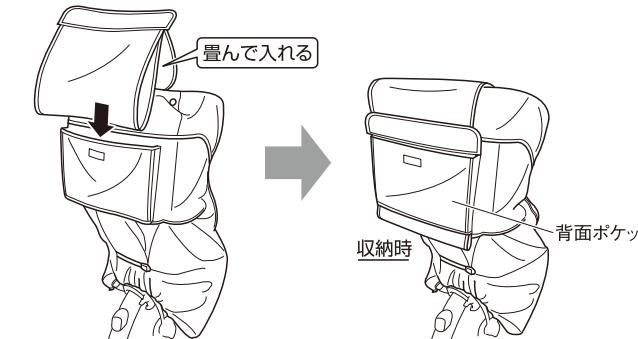
警告

- お子様をチャイルドシートに乗せ降ろしする時はチャイルドシート本体の取扱説明書に従ってください。
- 走行する際は、必ず上部ファスナーや下部ファスナーが閉まっていることを確認してください。風の影響を受けやすくなり危険です。
- 上部カバーを収納した状態で使用する場合は、上部カバーが背面ポケットに収納されていること、下部ファスナーが閉まっていることを確認してください。

上部カバーの収納方法

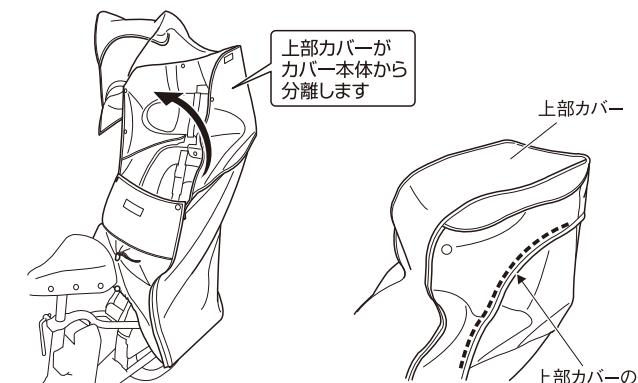
上部ファスナー（右、左）を開いた後、背面ポケットに2つに折り畳んだ状態で収納してください。

※背面ポケットは袋状になっていません。上部カバーを差し込んで収納します。



緊急時（転倒した際など）

① 上部カバーの縁を持ち、そのまま勢いよく引き剥がしてください。



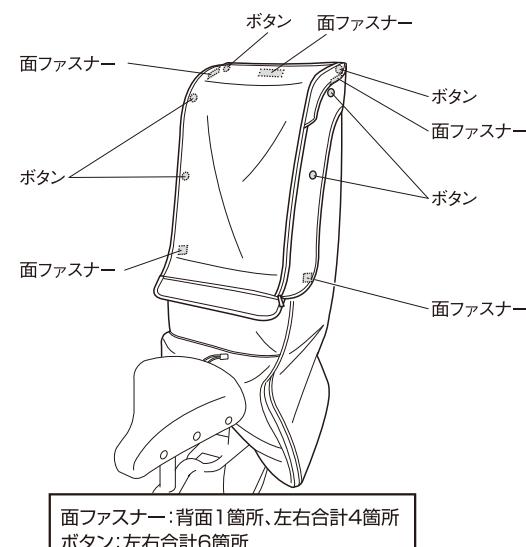
警告

緊急対応の後、上部カバーを引き剥がした状態で使用しないでください。風の影響を受けやすくなり、大変危険です。

注意

- 緊急時以外は過度の力をかけて引き剥がさないでください。ボタンや生地などが破損するおそれがあります。
- 緊急時に引き剥がした後は、製品に破損や変形がないか確認してください。少しでも異常を感じた場合は使用を中止し、販売店にご相談ください。

② 点検後、それぞれのボタンを留め、面ファスナーを貼り合わせて元の状態に戻して使用してください。



お手入れ方法・保管方法

- 濡れたときは、乾いたタオルで軽く拭いて、風通しのよいところで陰干してください。
- 汚れたときは、水またはぬるま湯を含ませたタオルで拭いてください。洗濯機およびもみ洗いはお避けください。



- 透明部分は、材質の特性上、折りジワやキズが目立つことがあります。強くこすらないでください。
- 直射日光を避けて、駐輪・保管してください。
- 濡れたままで保管しないでください。カビや色落ちの原因となるおそれがあります。

販売元 ブリヂストンサイクル株式会社

〒362-8520 埼玉県上尾市中妻3丁目1-1

お客様相談室

受付時間：9:00～12:00／13:00～17:00

（土・日・祝日及び弊社指定休日は休み）

電話番号：0120-72-1911
(国際電話・インターネット電話でのご利用はできません)

リヤチャイルドシートルーム取扱説明書

このたびは当社の製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

お客様の安全のために、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。読まれた後は必要に応じてご活用ください。

適用身長：70cm以上115cm以下

適応チャイルドシート：ブリヂストンサイクル製 樹脂リヤチャイルドシート（エンジニアリヤシートを除く）

警告表示

警告表示は危険度・重要度の程度に応じて次の区分で表示しています。

これらを守らないと事故につながったり、ケガをしたり、自転車が壊れるなどのおそれがあります。

表示の意味

警告

この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意

この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「傷害を負ったり、物的損害を負う可能性が想定される」内容です。

警告

- 本製品は自転車用リヤチャイルドシート専用のお子様の簡易雨具です。他の目的に使用しないでください。
- 本製品使用中は、お子様が呼吸しにくい状態や熱中症等にならないように、こまめにお子様の様子を確認し通気や水分補給に十分注意してください。
- お子様にはヘルメットを着用させて使用してください。着用しない場合、事故時に重傷あるいは死亡につながるおそれがあります。着用した場合、軽症ですむことが報告されているとともに、本製品とお子様の間に適度な空間を作ることができます。
- 真夏日や炎天下等カバー内が高温になるおそれがある時は絶対に使用しないでください。
- お子様をカバー内に残したまま短時間でも自転車から絶対に離れないでください。
- カバーには通気口があり走行時には風が入りやすくなりますか、停車すると通気が十分に確保できない場合がありますので、お子様をリヤチャイルドシートに乗せたまま自転車から離れないでください。
- 自転車に本製品を取り付けて走行される場合、取り付けていない時と比較して自転車のハンドル操作性、走行安定性、制動機能が低下する場合があります。事前に安全な場所で十分に走行練習をしてからご使用ください。特に風の強いときなどは危険ですので、使用しないでください。
- 緊急対応の後、上部カバーを引き剥がした状態で使用しないでください。風の影響を受けやすくなり、大変危険です。
- 破れたり、破損したまま使用しないでください。

注意

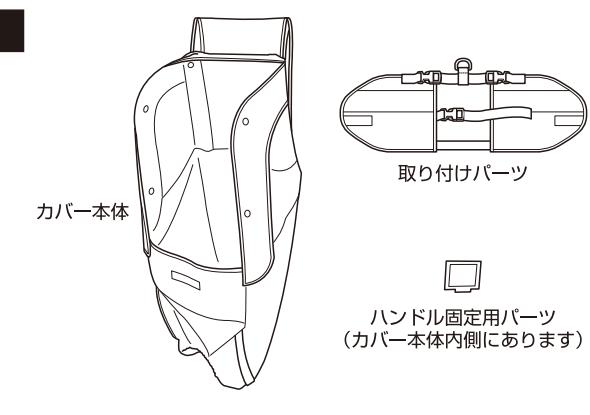
- 本製品は完全防水ではありません。使用状況によっては、通気口や縫い目から多少雨水が浸入することがあります。
- 鋭利なものは近づけないでください。破損の原因になります。
- 火気には近づけないでください。火事やヤケドの原因になります。難燃性はありません。
- お子様がかぶって遊んだりしないよう、十分ご注意ください。お子様が窒息するおそれがあります。
- 温度が高くなると製品の内側がくもることがあります。
- 透明部分は材質の特性上、折りジワやキズが目立つことがあります。
- 直射日光を避けて、駐輪・保管し、雨ざらしにしないでください。
- 紫外線や酸性雨など自然現象で耐久性が損なわれる場合があります。
- 自然光および照明等により、通常のご使用でも若干の変退色は避けられませんのでご了承ください。
- 濡れたままで保管しないでください。カビや色落ちの原因となるおそれがあります。

※本書に記載しているイラストは、操作方法や構造・仕組みをわかりやすくするため、現物と異なる場合があります。

※品質向上・改良のため、予告無く仕様・デザインを変更する場合がありますので予めご了承ください。

付属品の確認

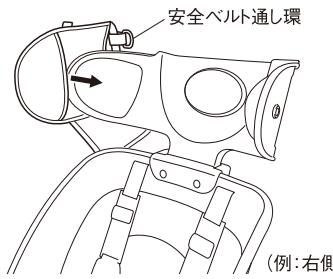
実際に本製品をご使用になる前に部品の欠品が無いことをご確認ください。



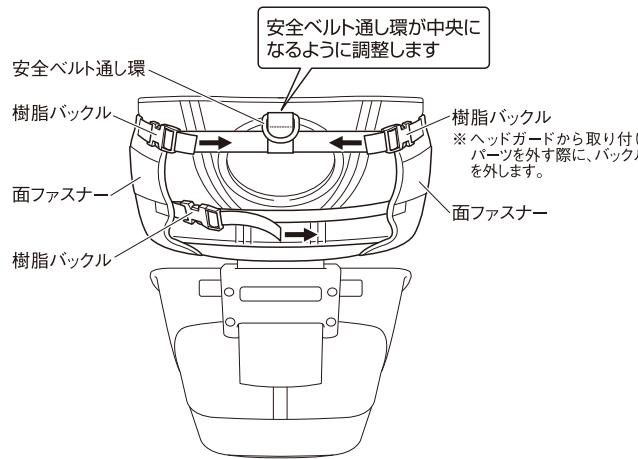
取り付け方法

1 チャイルドシート本体のヘッドガードを子どもの頭の高さに合わせ調節します。(ヘッドガード調整機能があるチャイルドシートに限る)

2 チャイルドシート本体の左右のヘッドガードに取り付けパーツをかぶせます。安全ベルト通し環が上側になるようにしてください。



3 取り付けパーツ背面のそれぞれのベルト先端側を下図の矢印方向へ引っ張り、取り付けパーツを固定します。
この時、安全ベルト通し環が取り付けパーツの中央になるように調整してください。

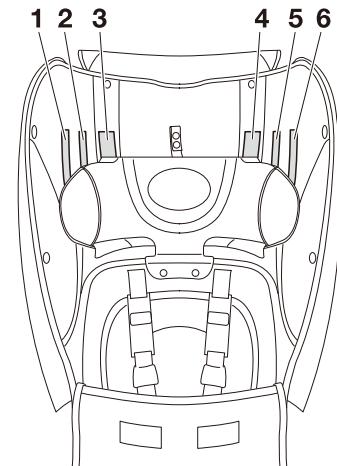


4 カバー本体をチャイルドシート上方から被せます。
※【向き注意】カバー本体背面の『BRIDGESTONE』ロゴ反射材が後方に向くようにしてください。
※この時点ではチャイルドシートのハンドルにカバーをかぶせないでください。



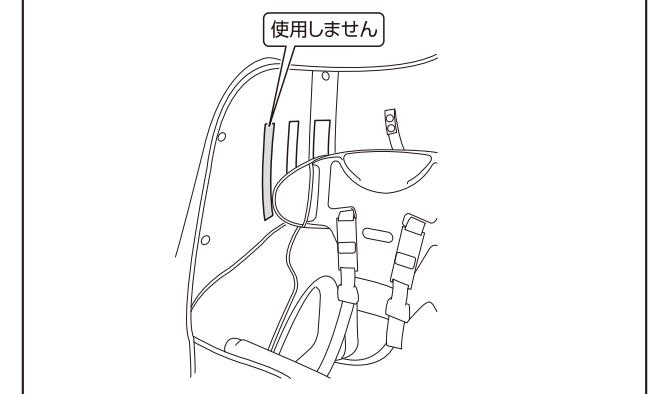
5 取り付けパーツとカバー本体の固定

カバー本体内側にある面ファスナー(6か所)と取り付けパーツ背面の面ファスナーを貼り合わせます。



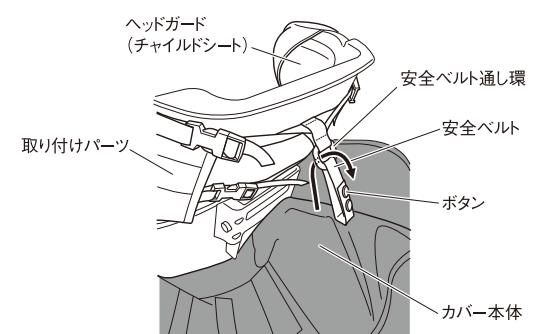
ヘッドガードの突き出しが短いチャイルドシート (ハンサムチャイルドシート)の場合

カバー本体内側の6か所の面ファスナーのうち、1と6は使用しません。



6 取り付けパーツと安全ベルトの固定

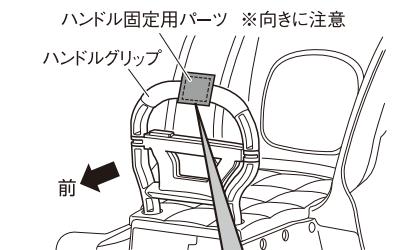
カバー本体内側上部にある安全ベルトを取り付けパーツの安全ベルト通し環に通し、ボタン(2個)を留めてください。
※安全ベルトは万一カバー本体が取り付けパーツから外れた際、カバー本体の落下を防止します。



警 告

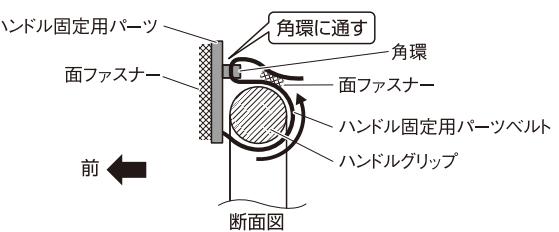
安全のため、安全ベルトは必ず使用してください。

7 ハンドル固定用パーツのベルトをハンドルグリップ中央部に巻きつけて、角環に通した後、面ファスナーで固定します。



ルラビーの場合

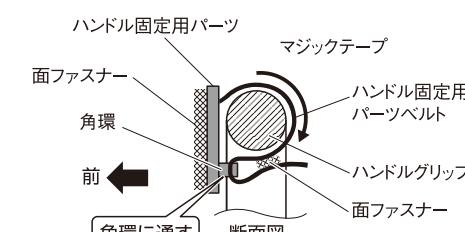
ハンドル固定用パーツの面ファスナーが上向きになるよう取り付ける



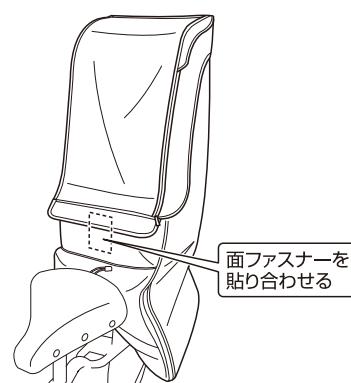
※ハンドル固定用パーツの面ファスナーが前方を向くように

RCS-S1、ハンサムチャイルドシートの場合

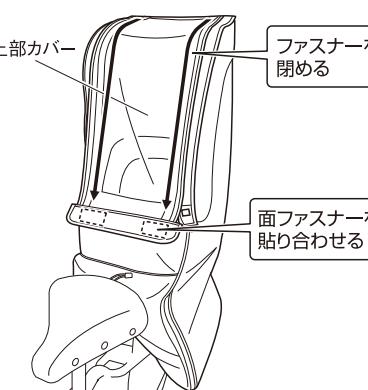
ハンドル固定用パーツの面ファスナーが下向きになるよう取り付ける



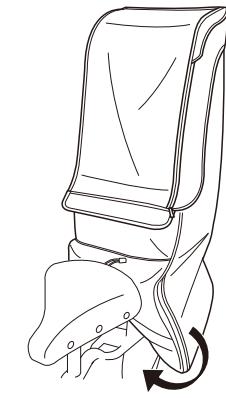
8 チャイルドシートのハンドルにカバーをかぶせ、カバー本体内側の面ファスナーとハンドル固定用ベルトの面ファスナーを貼り合わせます。



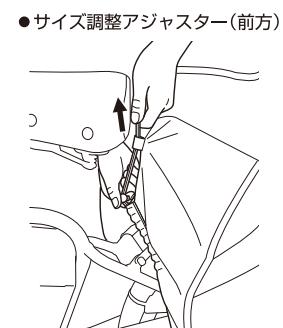
9 上部カバー先端中央部の面ファスナーを貼り合わせ、ファスナーを閉めます。



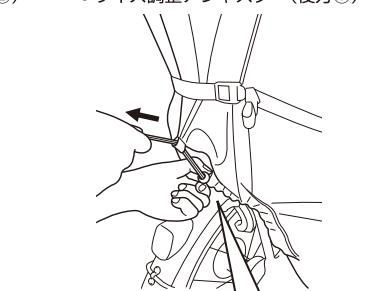
10 足乗せに本体カバーを被せます。



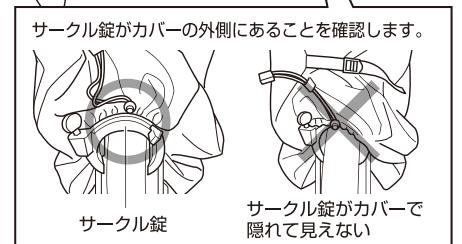
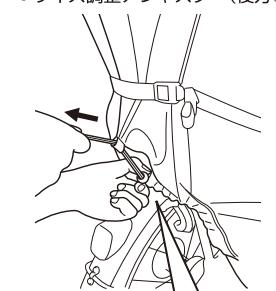
11 サイズ調整アジャスター(前方1か所、後方2か所)を調整し、生地のたるみを取ります。



● サイズ調整アジャスター(前方)



● サイズ調整アジャスター(後方②)



サークル錠がカバーの外側にあることを確認します。

サークル錠

サークル錠がカバーで隠れて見えない

サークル錠

警 告

カバーの裾やサイズ調整アジャスターの伸びたコードが車輪に巻き込まれないよう、結ぶなどして十分に注意してください。アジャスターのゴムは材質の特性上、経年変化することがあります。車輪に巻き込まれることがないか日常点検を行ってください。